



2019年10月号 掲載



子育て支援室の「わくわく子育て」



「絵本の読み聞かせ」

10月といえば『読書の秋』ですね。

人が集中する最適な気温は18度前後なので、その気温になる10月が『読書の秋』のいわれだそうですよ。

ちなみに同じ位の気温である6月は梅雨の季節なので湿度が高く適していないとの事です。ちゃんと理由があるんですね。

とはいえ10月といわず、季節を問わず、普段から子どもにたくさん

『絵本の読み聞かせ』をしてあげてほしいと思います。

読み聞かせは苦手と言う方もいるかもしれませんが、

本に書いている通りに読む必要はなく、大人が楽しんで読むのが1番ですよ。



絵本の種類も「果物」「動物」「乗り物」「しつけ」「色」など内容も様々です。

大人が良かれと思って選ぶ絵本と、子どもが興味を示す絵本とは相違があるので、子どもと一緒に選んだり、今何が必要かな～なんて考えながら選ぶといいですよ。

とはいっても絵本は結構高いので、まずは図書館などで借りてみて、気に入ったら購入というのもお勧めです。

絵本は・・・

『親子の絆（親の温もりを感じながら親を独り占めできる喜び）』

『集中力』『考える力（言葉の意味やその裏にある意味を考える）』

『想像する力（頭の中で場面の情景を描く）』

『予測する力（次にどんな話になるのか予測する）』 が育つとのこと。

また記憶力もつき、字は読めなくても絵本の内容を覚えて、自分で絵を見ながら読む姿はとってもかわいいですよ♡

1日1回は『絵本の読み聞かせ』をおすすめします(#^_^#)



😊子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください😊

保健福祉課 窓口③番 ☎6682-9878・9880（子育て支援室）

